



NPO 法人 留学生と語り合う会 (RKK) Relationship and Kindness are the Kings of Peace



### 留学生のニーズとRKKの活動 The needs of international students and RKK's activities

RKK 理事長 深水智明

Tomoaki Fukami, Chairman of RKK

最近、留学生主催のイベント、各日本語教室の発表会、外国人支援団体の会議に参加する機会がありました。留学生主催のイベントでは、留学生への就職活動の支援団体(公共機関を含む)の参加が前回よりも多く、留学生のニーズの強さを改めて認識しました。

また、各日本語教室の発表会では、参加者からRKKの活動プログラムやきめ細かいマッチング等に関心をいただきました。RKK活動の特徴を第三者の目を通して改めて知ることにもなり、考える機会になりました。

一方、最近とみに外国の人々の日本文化への関心が高まっており、私共の見学会でも寺院や文化施設等の見学に留学生が多く参加し、会員の皆様各々が文化イベントに留学生を案内されています。文化交流も留学生の強い希望と思われます。本号の留学生の寄稿には、日本の物語絵を通して日本文化への興味が表示されています。

このような留学生のニーズを汲み取り、それに応えると共に、RKKの活動の特徴を自覚し、活動を活性化することによって、会員皆様の喜びも倍増するのではないのでしょうか。新年度に当たり、これらの視点からRKKの活動を見、かつ、個人的活動(日本語指導等)と組織的活動(日本語勉強のマッチング、グループ活動等)との調和・調整を図りつつ、活動の方向を検討したいと考えます。

Recently, I had some opportunities to attend the event hosted by international students, the presentation of some Japanese language classes, and the meeting of foreigner's support groups. At the event, the number of participation of support groups, including public organizations, for international students looking for jobs increased more than before, which reminded me of the strong needs of students. I also could recognize characteristics of RKK's activities again through the eyes of others at the presentation by participants being interested in our activity programs and careful matchings.

With the current growing interest in Japanese culture among foreigners, many international students have participated in our excursions to temples and cultural facilities, and our members have also taken them to cultural events. It shows international students strongly hope for cultural exchanges. In the student's essay of this newsletter, interest to Japanese culture is shown through Japanese "monogatari-" (illustrated tales).

I think if we grasp and meet the needs of students and understand characteristics of RKK's activities and activate them, every member's joy will be doubled. In this fiscal year, based on these viewpoints, we would like to look at our activities and consider our direction as harmonizing personal activities (teaching Japanese, etc.) with organizational ones (matchings of studying Japanese, group activities, etc.).

(Translated by Azusa Sugita)

## お知らせ

### ● RKK 通常総会および懇話会 ●

期日: 5月6日(水、休日)  
場所: かながわ県民活動センター R301  
時間: 総会 13:00-14:00  
講演&懇話会 14:15-16:00  
懇話会テーマ: 留学生事情とRKKへの期待

### ● 平塚七夕まつりのご案内 ●

留学生と交流会、七夕見物を楽しみましょう  
日時: 7月4日(土) 12:30-16:30  
場所: 平塚市民活動センター(0463-21-7511)  
JR平塚駅南口下車

## 私たちの交流

### 日中の懸け橋になりたい

渠 妍 横浜国立大学大学院生（中国）

私は渠妍（キョケン）と申します。出身は中国遼寧省です。2013年12月、RKKを通じて、石村文鏡先生と出会いました。先生との出会いは、私の人生を変えようと一言も過言ではないと思います。

この一年間は、就職と卒業論文を書くことに直面した私にとって、とても大切な分岐点だと思います。

幸いなことは、石村先生の丁寧なご指導を承りました。エントリーシートのかき方、ビジネスマナー、面接対策などを教えていただいた上で、日本文化、日本人の慣習考え方なども伝えていただきました。

先生のおかげで、就職も卒業も順調に終わりました。勉強上だけでなく、生活上にどんな問題があっても、先生と相談しました。

いつも良いアドバイスをいただきました。先生は私の日本の母親のような存在だと思っています。先生を通じて、日本人の親切さを深く感じています。今後、自分も先生のような日中の懸け橋になろうと思って、日中友好に力を発揮できればと思います。

（原文のまま）

### 日本語指導を通しての絆

西地区 石村 文鏡

私が担当した中国人留学生・渠妍さんは横浜大修士課程を今春卒業し、日本での就職も決まりました。昨年1月から1年1ヶ月の間、指導してきました。

彼女は最初の授業の時、挨拶代わりにとお茶のセットをプレゼントしてくれました。今時の日本の若者にもない行為に驚きました。その後「先生とご縁があって良かった」と言ってくれて、いろいろな心遣いをしてくれました。私達は課外授業と称しては色々な場所に行ったり食事をしたりしました。入社前の里帰り誘われて3泊4日の

大連（彼女の出身大学のある）旅行をしました。私は2日目に転び怪我をしましてが病院に付き添ってくれ、かいがいく私の面倒を見てくれました。彼女の友人達からも款待を受け、彼女の人柄の良さを聞き、自分の娘が褒められた様な気がしました。この旅行でホテルの一室で共に過ごし、食事をしたり、人生について語り合ったりしてお互いにご縁があった事を感謝しあいました。そして一層の絆を感じています。

## トピックス

### よこはま ちくちゅうごくりゅうがくせいがくゆうかいしんねんかい きんか 横浜地区中国留学生学友会新年会に参加して

標記の中国留学生学友会主催の新年会（1月29日／横浜国内にて）にRKKも友好団体の一つとして招待され、また、指導されている留学生の招きで布津さん、岩瀬さんも参加されました。参加者数は留学生と友好団体（9団体）の参加者を合わせて80人を超える状況でした。このたびは、学友会会長の交代があり、喬 禹翔さん（前会長）と楊 梓さん（新会長）の挨拶がありました。私共は前会長の喬さんにはこれまでの交流への謝辞を申し上げ、また、新会長の楊さんにはこれからの交流をさらに進めるべく、今後の留学生支援について意見を伺うことをお願いしました。

ところで、参加した友好団体の中には、従来に増して、就職支援団体（企業）の参加が目につきました。RKKは留学生の登録案内を展示しました。（深水 記）



# 留学生のたより



## 感謝の気持ちで後悔しない今を

王 哲 横浜国立大学大学院卒（中国）

RKKの皆様、いつもお世話になりまして誠にありがとうございます。この場をお借りして近況報告をしながらRKKについての思いを書きたいと思えます。

わたくしは2012年の4月から横浜に留学して来てまもなく、RKKの布津さんと出会いました。布津さんのご紹介で南浦先生と知り合っ、それ以来、定期的に南浦先生と交流し、いろんな方面でご支援をいただきました。2013年夏頃以来、就活で忙しくなり、交流は少なくなりましたが、当時先生のご指導していたもう一人の留学生のセツさんと三人でよく食事会をし、いつも楽しく交流しました。

2013年11月より内定先でアルバイト始まり、2014年4月から正式に社会人になりました。思わぬ上司の引き立てをいただき、面白い仕事を任せられ、充実で忙しい毎を送っています。あっという間に卒業から一年が

経つ、会社は東京で自分も東京に引越してきたが、いつも親切にご指導とご支援くださった横浜の方々及び横浜で過ごした学生生活をよく思い出します。特にボランティア精神で留学生支援活動をなさるRKKの皆様、尊敬しながら感謝の気持ちが心の中に溢れます。確かに今日本と自分の母国中国の関係は困難に直面していますが、両国関係の改善の原動力はやはり民間に潜めます。今だからこそ、素直に交流しお互いが考えていることを適確に受け取って、また自国の人々に広げさせることが極めて重要です。会員の皆様方がお携わっていらっしゃる事業はまさにこれに合致しておりま。RKKの皆様よりいつも善意と暖かさをいただき、こちらで心から感謝申し上げます。また、自分も頂いた感謝の輪を少しでも更に広げさせて後悔しない今を送りたいと思えます。

(原文のまま)

## ものがたり え かん 物語絵で感じたこと

黄 琳琳 法政大学大学院（中国）



先日「ことば」と「かたち」をテーマとする物語絵の展覧会を見に行きました。その物語絵は「ことば」で描かれた情景を絵の「かたち」で書き出していました。江戸時代から残されている絵巻と屏風

はその時代の独特な視角で、源氏物語や平家物語のような誰でも知っている話の中に、いくつかの情景を描写しています。鮮やかな色彩を用いて作った屏風や水巻を通して静かな雰囲気を描写した絵巻があります。美術館のサイトには、絵巻や屏風の無限のイメージに対して具体的な輪郭線を与えずに書いてありました。

とはいえ、この輪郭線は人々の想像空間に限っているわけではありません。華やかな色で描写された江戸時代の「源氏物語図屏風」を見た時、絵で写した華麗さは「言葉」で表現しきれなかったのではないかと感じるほどでし

た。この感じを読み取った上で、想像の空間が更に広が

り、源氏物語を理解することができるのでし。留学生の私は元々源氏物語の映画しか見たことがなかったのですが、物語絵を見た瞬間に、これは江戸時代の画家が、源氏物語や平家物語をそういう画面でとらえたのだと気がつきました。物語と適合する「形」により、作者たちは伝えなかったことを伝えられるのだと感じました。この古い物語絵によって、日本人ではない私ですら、更に深く日本の歴史を認識することができました。私はますます日本の文化に興味を抱きました。



### 日本語の教え方ブラッシュアップ講習会

#### 日本語の教え方

#### ブラッシュアップ講習会を開催しました



日本語指導グループ 岩瀬暢男

中・上級レベルの学習者への日本語の教え方を学ぶブラッシュアップ講習会を2月14日、22日に開催しました。約50人の大勢の方が参加され、文法、語彙、読解、文章添削などの書き言葉の講義を熱心に受けました。講義時間を増やして6時間にしたことにより、知っておくと役立つ日本語の使い方と特徴を濃密に講義して頂くことができました。反面、内容が豊富だった分、時間が足りなかったとの感想がアンケートに多くみられましたので、次回に向けて一層の工夫を考えたいと思います。



#### 新入会員の声

#### RKKは人材の宝庫！

西地区 小村俊二

【出会い】仕事帰りに立ち寄りた所と言えば、皆さんはどこなところでしょうか。“飲み屋やバー？あるいはフィットネスとか、ケーキ屋さん・・・”とか拳がりそうですね。そう言う私は戸塚区役所なのです。そうとう地味です。ちょっと恥ずかしいので言わなかったのですが、初カミングアウトです。実はこのロビーは広々として、新築で気持ちが良いので時々本を読んで過ごしたりしています。ある時、壁面にずらっと並んだ区の広報等のチラシの中に宝のような情報を見つけました。河島先生の『日本語の教え方講習会』です。何より授業料が格安（失礼！）。「これは出会いだな！」と思わずつぶやいていました。

【“目からうろこ”の授業】河島先生の授業は、わかりやすい！丁寧に選んだ言葉で話され、無駄な説明も、足りない言葉もない、そんな印象をまず持ったものです。時折雑談的に話される“留学生とのお変な会話”の話がまたよいのです。面白くもあり、ほほえましくも

ある。教え子に対する思い遣りを感じられるのです。思い起こすと中学のころの文法の授業は、とても退屈なものでした。河島先生のような授業に若いころ出会えていたらな・・・。と思い描いたものでした。

【RKKの活動を通じて】“人種のるつぼ”とは時折言われる言葉ですが、“RKKは人材のるつぼ”ではないかと思い始めました。地区ごとの連絡会や中国語の勉強会、あるいはコンサート鑑賞など、いくつか参加させていただくうちにそんな思いを持ちました。海外で活躍されて豊富な知識を持った方や、音楽や絵画に造詣の深い方、お年を取っても若々しく、とても素敵な会話を携えている方、英語で留学生とコミュニケーションを取れる方・・・ETC。こんな人生の先輩方と出会える場は貴重なものです。“人材の宝庫”見つけた！”そんな思いを持ちました。これからもこの活動がいきいきと続きますように願ってやみません。



にっちゅうよめしゅうとめせん そうぼっぽつ

## 日中嫁姑戦争勃発か？

中国語学習グループ 星 和子

なんと恐ろしいことでしょう。も我が身に起こったら。  
私の次男が中国のお嫁さんと結婚したのが三年前でした。一昨年には子供も生まれ、中国深圳市福永の町で親子水いらずの生活を送っています。私の友人達は、私とお嫁さんがうまくやれているのかどうかを真っ先に心配してくれました。

日本では女性が強くなったのが、男性が弱くなったせいなのか、多くの家庭では、お嫁さんの実家の近くに住み、息子の両親は気を使いながらなるべく距離をおいて、遠くからそっと見守っているのが現状なのです。そんな中、私は孫の成長を目にしたく一年に数回中国に渡り、息子達も家族で日本へ遊びにやってくる様になりました。

私もお嫁さんと少しでも会話ができればと思いRKK中国語教室へ通うようになりました。66歳から始めた中国語は思っていたより難しく一つの単語を修得するのに何時間もかかってしまうのです。お嫁さんも息子とは中国語で日常会話をしているのが片言の日本語しか話せません。

最初の頃は漢字を書いて意思を伝えていましたが、今では、単語を並べたりジェスチャーをして、「ほんの少し」の気持ち伝える事ができる様になりました。

しかし、言葉の問題よりも、お互いの国の文化を理解する事の方がもっと難しいという事が解りました。例えば、彼

女は辛い料理で有名な湖南省の出身で、初めて日本に来た時のことでした。私がせっかく作った日本料理の味が薄かったせいか、たっぷりの香辛料をかけておいしいおいしいと食べてくれたのです。私は内心おもしろくありませんでしたが、日本人同士であれば、これをきっかけに嫁姑戦争勃発です。ところが、皆様ご心配なく！私達は幸いに片言しかしゃべれません。相手の言う事が半分も理解できず、何となくうやむやになって、「最後は笑って終り」となるのです。

そんな訳で、皆様の期待を裏切つて申し訳ありませんが我家はいたって平和なのです。私が三つ覚えて、二つ忘れる様な落ちこぼれ生徒であった事が、かえて良かったのかも知れません。これから少しずつお互いコミュニケーションがとれる様、正確な意思が伝わる様、努力していきたいと思っています。一歳三カ月になった孫の為に、日本と中国、そして世界の平和が続きます様、心より祈っております。



## トピックス

### お왕さん 王さんの修了式に行ってきました

横浜国立大学国際社会科学部経営学専攻の王さんは1年間私と一緒に日本語を勉強してきましたが、3月25日に晴れて修了式を迎えました。今年の卒業生は1656人、大学院修了生は935人で、教官と家族なども含めて広い横浜文化体育館は一杯になりました。鈴木邦雄学長は式辞の中で固定観念にとらわれずに語らいを大切にしてほしい、留学生に

対して横浜国立大学卒を誇りとして母国のため尽くしてほしいと語りかけられました。最後にオーケストラ伴奏で混声合唱団とともに全員が学生歌「みはるかす」を歌いました。こうして今年もRKKで日本語を習ったり、日本文化を楽しんだ留学生達が巣立っていきました。おめでとうございます。(村田 記)



# グループ活動だより [ファミリー交流グループ]

## IMP留学生とのお別れ会



## 希望の春

さあ旅立とう、それぞれの思い出を胸に



春の訪れ間近の2月26日(木)、横浜国大インフラ事務室主催のIMP留学生との交流会が山下公園近くのホテル Monterey よこほま 前にて開催されました。当日は国大の関係者の方々が、今回卒業されるIMPの留学生14人、RKKからは清水理事長を初めホスト・サブホストの方々8人、留学生に関わった他のボランティアグループからの参加者もあり、30人を超える方々が集まり、盛大に行われました。

はじめに、新しくディレクターになられたRAND先生(オーストラリア出身)から留学生の努力をたたえる言葉が話され、また私達ボランティアの人たちには感謝の言葉を述べてくださいました。RKKからは徳屋さん



ファミリー交流グループ 松井 直子  
が代表してご挨拶をされ、とても和やかな雰囲気の中で交流会が進められました。2年前、若葉がきれいな頃、横浜に来られた留学生



たちは、さまざまな試練を乗り越え、それぞれの学習課程を終え、日本での思い出を胸に帰国することになりました。美味しい料理を頂きながら談話し、日本での残り少ない日々を惜しみました。RKKからはささやかなプレゼントが留学生ひとり一人に手渡されました。国大は港横浜にふさわしく今後も国際交流力を入れていくと、私たちの役割も今後増えていくことに希望を抱きながら会場をあとにしました。



\* \* \* \* \*



## お花見会

## やすらぎの地に恵まれた一日

満開の美しい桜の下で、飲んだり食べたりする花見は、日本独特の風習とも言われています。RKKでは今年も4月5日(日)こども自然公園(二俣川大池)でお花見会が行われました。あいにくと花冷えのする寒い日となり、おまけに集合時間の11時頃には本格的な雨になってしまいました。下見など事前の準備や早朝から場所取り、お弁当作りなどその日のために取り組んできた私たちはこれで諦めるわけにはいきません。野外活動センターの建物の中で食事をとることができるという情報を得て、留学生11人、RKKのメンバー19人の大移動が始まりました。途中の林道をぬける道では所々に美しい桜や木漏れ日を見る事が出来、幻想的な雰囲気でした。幹事挨拶のあと、みなさんと乾杯をしました。昼食はお寿司、煮物、揚げ物、焼きたてのサラダ、フルーツ、ケーキなど皆様が持参した食べ物も心も体も満ち

してくれました。自己紹介で盛り上がりかけた後、やはり、メインは・お酒。お酒の飲める会場をめぐりまた移動が始まりました。池の近くの東屋を見つければ、お酒類やおつまみを頂きながら思い思いに交流を深めました。RKKという会を通してそれぞれが結びつきを持っているおだやかな時間が流れました。最後に、河村さんのリードで「小さな世界」の手話ダンス、「幸せなら手をたたこう」の歌と踊りて楽しく盛り上がりました。一日、流浪の民のようでしたが、行く先々に安らぎの地に恵まれ、楽しい時間を過ごすことができました。皆様有難うございました。「花より団子」とは言いますが、やはり暖かな日差しと満開の桜があればさらに幸せな気持ちになれるでしょう。来年もみなさんまた会いましょうね。(松井 記)





2014年12月24日実施 第53回社会工場見学会

①崎陽軒 ②「セブン&アイ伊藤研修センター」(株)セブン&アイHLDGS

## 崎陽軒横浜工場見学会

この感想文は、当日参加した多摩大学グローバルスタディーズ学部 留学生7人それぞれの感想を、遠藤先生(多摩大学)がまとめて下さったものです。

王 婕(ワン ジェ)(中国)

シウマイと弁当の製造過程を実際に見ることができて楽しかったです。工場の設備と衛生管理は進んでいる。とても印象に残りました。

吴 佳捷(ゴ ケイショウ)(中国)

崎陽軒の工場見学会は、私にとってイメージより多く人が参加した。意外には中国語ができる日本人もいる、それに私はびっくりした。今回は初めてシウマイの製造工程を見学した。このような大型機械の発明は、本当に人間に巨大な便利を持ってきたと思う。シウマイも食べた。上海のシウマイと比べて大違いだと思う。

吴 佳敏(ゴ ケイビン)(中国)

崎陽軒・横浜工場に対して第一印象は清潔です。私たちは社員の案内で工場を見学するとき、シウマイの製造過程に注意して見ました。今の食品を製造する技術は、ますます進んでいると思います。以前より商品の供給量ももっと十分になりました。私たちの日常生活に簡単な・健康的な食生活を与えられたと思います。

鄭 雯雯(チェン メンメン)(香港)

見学会はとても面白いです。そして今まで食べたことがないシウマイが食べることができました。日本語の勉強にもなりました。ひょうちゃんとしウマイ娘もかわいいと思います。



石 偉男(セキ イタ)(中国)

原料の採用、作りの手順、味のおいしさ、全部ほぼ完璧だと思えます。だからこそ、こんなに時代を超えたシウマイは今でも人気があると思いました。

イ・イウ・タク・ネイザン(香港)

焼売の工場を見るのは初めてです。自分はいつも気になっていました。焼売はどうやって工場で作るのかと。もちろん機械でつくるのはわかっていましたが、やはり直でみるのは、もっと知ることができました。

前川洋幸(アメリカ)

崎陽軒という会社の歴史が学べてとてもよかったです。長い間愛されてきたシウマイの作り方や歴史を知る事ができてとてもうれしかったです。試食会でとてもおいしいシウマイが食べられてうれしかったです。崎陽軒という会社はとても歴史が豊富な会社だと思いました。機会があれば、また見学に行ってみたいです。

(原文のまま)

## [社会・工場見学 G の報告]

今回は、工場見学で人気スポットの一つと言われている「崎陽軒横浜工場」と、通常一般には見学会が公開されてない「セブン&アイ伊藤研修センター」を(株)セブン&アイ HLDGS さんのご好意で見学することができました。

今では横浜名物となったシウマイの商品開発か

ら、人気ブランドとして定着するまでの長い歴史や、東京の千住で「羊華堂」として小売店を開業してからの創業精神や企業理念、発展の歩み、日本の流通システムを大きく変えてきたグループの革新への取り組みなどを学ぶことができ、感動の多い一日となりました。(山口 記)

# グループ活動だより [社会・工場見学グループ]

2015年3月4日実施 第54回社会工場見学会

①電車とバスの博物館 ②NEXCO 中日本コミュニケーション・プラザ川崎



にほんじん こうりゆう

## 日本人との交流や

にほんしゃかい いちめん まな いちにち

## 日本社会の一面が学べたいい一日でした



アラファト スルタイ 横浜国立大学(中国新疆ウイグル自治区)

RKK見学会は今回初めてで、午前中は電車とバスの博物館見学でした。前日から雨の恐れもあったのだが、予想外のいい天気にも恵まれました。博物館中では東急電鉄の戦後の電車やバスなどがありました。電車の運転シミュレーターがあり、うまスピード調整や停車させることはできなくて、日々の電車運転が大変な仕事などと肌身で感じました。また、昭和年代の駅舎が再現されていて、当時からたたくさんの路線があったことに驚きました。最後に、戦後初官民が一体となって開発した国産飛行機YS-11 などの本物のクックビットもありました。貴重な機会を機長を体験させてもらって、本物のパイロットになったかのような気分になりました。

昼食を挟んで午後は NEXCO 中日本のコミュニケーション・プラザ川崎を見学しました。ここでは 1963 年にコミュニケーションに東名高速道路ができてから今までの歴史やその取り組みを紹介させてもらいました。高速道路を設備や管理の様子をジオラマでリアルに再現しています。館内にある道路管制センターで、800 台のカメラや

車両検知器の設備で集められた情報を分析し、道路状況を把握しているようです。彼らは常に安全・安心で道路を使ってもらうために、彼らは 365 日 24 時間体制で監視・管理しているそうです。また、屋上からは IC 入口が見られるほかに、天気がいい日にはスカイツリーが見られてとても楽しいです。今回は日本人との交流や知らない日本社会の一面が学べたとていい一日でした。(原文のまま)



昼食も楽しい

### [RKK 社会・工場見学 G の報告]

今回は、日常何気なく利用している電車やバスの仕組みや、運行管理システムを東急電鉄の博物館で、また、24 時間 365 日休むことなく続けられている高速道路のメンテナンスや安全管理について、その中枢である NEXCO 川崎の管理

センターを見学しました。見学当日の朝、東急田園都市線が夜間工事の遅れで遅延し、主催者が遅刻するハプニングに会ったのは何かの因縁でしょうか。(山口 記)



## おもな活動(2015/2~2015/4)

### スタッフミーティング

◇3/21 午後、サポートセンターR604にて22人のスタッフの参加のもと、2014年度第4回スタッフミーティングが行われ、恒例の活動グループ、地区交流会、委員会それぞれからC&C(報告・連絡そして相談)を実施した。またディスカッションタイムは、「2014年度を振り返って」をテーマに皆さんから色々なご報告、ご感想、ご意見がありました。

### 地区交流会

- ◇東地区:3/15に川崎市民活動支援センターで交流会および歓迎会を10人の参加のもと実施。
- ◇西地区:2/1に年4回の交流会をフレンズ戸塚で実施。13人が参加。4/19には10人が参加。
- ◇南地区:3/22に中区民活動支援センターにて地区交流会実施。参加人員7人
- ◇北地区:3/14に7人の参加のもと地区交流会を実施。3/15国際研修センター「閉館式」に参加。
- ◇中央地区:2/28 KANFAN Stationで留学生をまじえて8人の参加のもと地区交流会を実施。
- ◇湘南地区:3/14 藤沢青少年会館にて交流会を実施。9人が参加。

### 活動グループ

- ◇日本語指導 G:2月の日本語の教え方ブラッシュアップ講習会全2回は51人が受講し大盛況。
- ◇ファミリー交流 G:2/26に横国大IMPのお別れ会にRKKから8人が参加。4/5お花見会総勢30人参加。
- ◇中国語学習 G:2月から新たな期に入り、15人のメンバーが受講。
- ◇社会・工場見学 G:3/4 電車とバスの博物館・NEXCO 見学は26人が参加。

### 委員会

- ◇会員委員会:3/21 マッチング検討会を実施。
- ◇広報委員会:RKK ニュース 59号の編集。ホームページは適時更新。
- ◇企画委員会:夢ファンド、寄附、賛助会員入会の推進。
- ◇会計委員会:収支決算・事業計画予算作成。
- ◇事務室:スタッフミーティング、総会開催準備、事業計画・議案書作成。

## トピックス

### 神奈川県国際研修センター閉館

神奈川県国際研修センターは、2015年3月に28年の歴史を終えることになり3月15日(日)、県担当部、運営受託のJOGA関係者、県議員、大学、地元団体、学生支援ボランティア団体及び在住留学生多数の出席のもと、閉館式が行われました。

長年にわたり、神奈川県招聘の海外技術研修員だけでなく600人近く、さらにその数倍の私費留学生に快適で安価な住まいを提供して来たことは、神奈川県のアピールの国際交流事業でした。

RKKとしては、12年前から約80人の研修員・留学生と日本語サポートを中心に交流してきました。今後、研修員招聘事業は継続されるとのこと、又研

修センターの建物もこれまでと異なる枠組みでの留学生用施設として使われる可能性があるとのことで、その成り行きに期待したいと思います。(岩永 記)



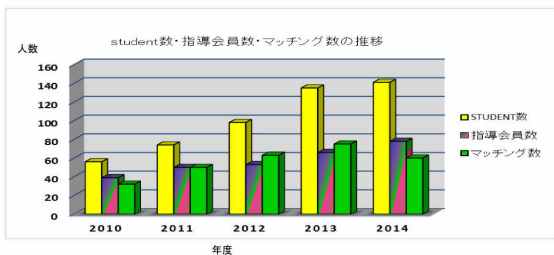
## マッチング情報

- ・2010年度から、2014年度までの日本語指導状況の推移を図示しました。
- ・人数等は、すべて延べで数えた数です。

(矢野 記)

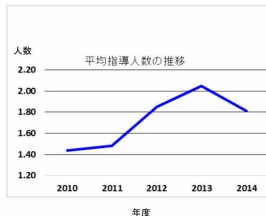
Student数・指導会員数・マッチング数の推移

年度	2010	2011	2012	2013	2014
STUDENT数	56	74	98	135	141
指導会員数	39	50	53	66	78
マッチング数	32	50	63	75	60



平均指導人数の推移

年度	2010	2011	2012	2013	2014
平均指導人数	1.44	1.48	1.85	2.05	1.81



- ・STUDENT数、指導会員数は前年度より増加傾向にあります。
- ・一方、マッチング数、平均指導人数は一昨年度の水準に戻ったようです。
- ・現在、待機中の指導会員は前年度より増えており、活発な指導が可能な態勢です。

(矢野 記)

## 日本語教室事例発表会で ポスター発表しました

横浜市・地域日本語教室事例発表会(主催:横浜市政策局、実施:横浜市国際交流協会-YOKE)が2015年2月1日(日)に行われ、発表5団体の一つとして発表しました。70人の参加者があり、RKKからは発表者3人、深水理事長ほかの計5人が参加しました。

発表会の中心となるポスター発表では“留学生”、“語り合う”の説明を中心にして1対1の対話形式、数年に亘る継続対話、マッチングへの配慮、会員の日本語能力向上を補助する講習会と留学生スピーチ大会、3つの活動グループによる幅広い連携活動の紹介等を行いました。ポスターを前にしての多くの質問と意見交換では、まわりの留学生たちに紹介したい、自己啓発できている点が素晴らしいなど声があり、RKKの魅力を再認識させられました。

基調講演(嶋田和子氏)での多文化共生「共に歩む」

の考えや全体ディスカッションでの日本語教室の多様性の再認識など、RKKにとって貴重な情報を得ることが出来ました。

今後も情報発信を積極的に行っていきたいと思いません。(岩瀬 記)



## 留学生の皆さんへ/For International Students

RKKは下記の日本語指導 (Japanese Language Tutoring) を行っています。

ボランティアの日本語個人指導を受けてみませんか！

- ・ 日常会話 (Daily Conversation)      ・ ビジネス会話 (Business Conversation)
- ・ 卒論、レポートの文書指導 (Writing Japanese Thesis & Report)
- ・ 新聞／書籍等の読解 (Reading Newspaper & Books)
- ・ その他に、工場見学／社会体験      ・ 留学生との交流イベント等を開催しています。



詳しくは、Home Page(Web site)  
連絡先 (Contact) 津田 (tsuda)

RKK NPO 検索 を参照してください。  
e-mail: sakura\_tudakei@ybb.ne.jp

## よろしくお願ひします

### 新入正会員のみなさまへ：よろしくお願ひします！

入会正会員：池田寛子（戸塚区）、村瀬武弘（逗子市）、真坂薫（相模原市）、西脇誠五郎（神奈川県）、三羽成子（逗子市）、増田貴之（東京都）、宮地明男（港北区）、小林才子（旭区）

### 賛助会員のみなさまへ：ご支援ありがとうございます。

賛助会員：斎藤興二、鈴木輝夫、深田昌子、小久保佐恵子、杉田あずさ、鈴木一重（敬称略）

## ホームページを お訪ねください



ホームページは随時更新しており、「会員の広場」も開設致しました。

「会員のひろば」を通じて留学生に対する支援、交流体験の他、コンサート、映画、絵画など趣味の情報交換にも利用できます。

掲載希望の会員はメッセージを RKK 広報委員会スタッフにお知らせください。

投稿先アドレス : [sugita1526@ybb.ne.jp](mailto:sugita1526@ybb.ne.jp)

掲載ホームページ

<http://homepage3.nifty.com/rkk/>

広報委員会では皆様からの広場への寄稿をお待ちしております。

広報委員会

## 会員募集中

RKK の活動に興味をお持ちの方はホームページをご覧ください。

入会申込書はホームページ「入会案内」からダウンロードできます。

詳しくは、Home Page(Web Site) RKK NPO で検索をお願いします。

## ご寄付のお礼

この度下記の皆様から RKK にご寄付をいただきました。

心より感謝申し上げますと共に、留学生支援活動に有効に活用させていただきます。

松本治子様 杉田慶子様

## よこはま夢ファンドのご案内

横浜市には、ボランティア団体の支援を目的とした“よこはま夢ファンド”の制度があることをご存知でしょうか。

このファンドを通じて RKK の留学生支援活動を支援して頂けます。ご協力をお願いします。

税制上の優遇措置など詳細は「よこはま夢ファンド」で検索して当該のホームページをご覧ください。(企画委員会)



ほうじん りゅうがくせい かた あ かい  
NPO法人 留学生と語り合う会

れん らく き き ほづから あつし  
連絡先：〒245-0008 横浜市泉区弥生台 9-1-12-407 萩原 敦

E メール：[rkk1025office@yahoo.co.jp](mailto:rkk1025office@yahoo.co.jp) Tel & fax 045-813-8327

ホームページ：<http://homepage3.nifty.com/rkk/>

Friendship Association for International Students and Japanese Volunteers

RKK ニュース編集：RKK 広報委員会 春号担当 杉田慶子 April 23, 2015